中央委員、大會準備委員等は早朝より會場準備に当り午前九時終了後、関東側組合員約二百名は組合旗十数旒を携へ東京駅前に関西側代議員約百名を出迎へ「ウラーく」と高唱し一団とおりて會場に向はんとせしも指揮者の注意により三々伍々静かに入場した。

午前十一時三十分中央委員長野田律太簡單に開會を宣し、直ちに規約十三条に基く議長の選挙に入る。満場一致にて野田律太推薦され、仝議長の指名によりて京都地方評議會の奥村甚之助副議長に選ばれ次に書記長市村光雄、書記木村、松岡、井上、森本、犬島の六名の任命あり、予定のプログラムを辿る。

△挨拶　関東地方評議會の藤沼瞭一関東側を代表して勧迎の辞を述べ之れに対し北海道地方評議會の鈴木源重遠隔地代議員を代表し答辞を述ぶ。

△資格審査委員任命

議長の指名により委員長（藤沼瞭一）以下六名任命す、

△友誼団体代表祝辞

海員刷新會、関東無産俸給者組合、朝鮮光州共済組合、陸工會、東京家具工組合、

―これ等祝辞の内容を綜合するに評議會の大會を祝福すると同時に、同組合の官憲の壓迫、総同盟等の逆宣傳に堪え忍ぶことに勇敢ふれと激励し今后益々無産階級の陣容完成のために共同戦線に立たざるべからずと力説す―

△仝上祝電

全国水平社、官業大阪煙草労働組合、無産者新聞

△緊急動議

検束代議員釈放に関する件（関東金属　藤田喜一）……可決

昨夜関東地方評議會本部に於て一部組合員の検束ありしが、その際の官憲の態度は吾々の軽挙を待つが如くであった、被検束者中杉浦、松尾の両君は関東金属の代議員であって組合として支障を感ずるものがあつ故警視庁に其の釋放方を運動された。方法は議長指名の委員三名に自由法曹団の人々依頼して警視庁に同行出頭陳情すること。―との説明に対して野田議長は一應の補足的説明後採択満場一致之れを可決実行委員に、藤田亮一、高森忠利、藤沼瞭一を挙げ自由法曹団弁護士上村進同行の上警視庁に交渉した。

△祝電、神戸S、M、U、岡山ゴム足袋工組合、熊本無産青年同盟、京都無産者教育協会

△代議員資格審査委員會報告、……（承認）

代議員総数　二百三十四名

出席者　百八十九名（女十一名）

△緊急動議

日毛工手訓和會大會に祝電発送の件……可決

△各種委員任命

議案委員委員長国領吾一郎以下五名